

わが家のアイドル



平成22年1月撮影

もが 百花ちゃん(H19. 2. 5生)

綾織町 岩本 英明さん の長女
美香さん

健康で素直な子どもに
育ってほしいです

大きくなったら 何にになりたい？



山口 詩乃ちゃん
(青笹小・1年)

ケーキ屋さんになりたいです。チョコレートケーキとショートケーキを作って、みんなに食べてもらいたいです。



松原 光佑くん
(青笹小・1年)

パン屋さんになりたいです。おいしいフランスパンやドーナッツを作って、家族と友だちに食べてもらいたいです。

ともに歩んで半世紀

綾織町 柿木 繁さん(73歳)
ミヤさん(70歳)



青春の トーク

自信と責任を持てる 大人になりたい

菊池 美香さん
きくち・みか
青笹町 20歳 AB型

1月に成人式を迎えたばかりの菊池美香さん。青笹町にあるオサダ岩手事業所で製品検査を担当しています。「会社の信用にかかわる大切な仕事。細かい傷も見落とさないよう気を付けています」と話します。

所属し、初段の腕前。現在も、時々母校を訪れ、後輩の指導や大会運営の手伝いをしていきます。

今月の誕生日で20歳を迎え、いよいよ本当の大人の仲間入り。「もっと多くの人の交流や経験を積んで、自信と責任を持てるようになりたい」と抱負を語ってくれました。

◆性格は：おっとりしている
◆休日：映画を見たり、買い物に出掛けたりする
◆理想の男性は：優しく、引く張ってくれるような人

二人で元気に過ごしましょう 夫の笑顔が何よりの支えです

結婚のとき、五十年の思い出は、(繁)親同士が決めた結婚でした。きれいな人だと思っていたら、学校の後輩と知り大変驚きました。

(ミヤ)まさか先輩と結婚するとは思っていませんでした。映画に誘われましたが、とても恥ずかしくて断ってしまいました。

(繁)田や葉タバコの手入れ、馬の世話など、家業の農業を継ぐために、父の背中を見て仕事を覚えた日々が懐かしいです。

思い出の服や着物も 自分好みにリメイク

キルトサークル(会員12人)



古くなった布団や着物、服などを、色とりどりのすてきなかぼんや敷物、小物入れなどに作り変えるキルト。44歳から75歳までの会員13人が、毎月第4月曜日、松崎地区センターで、キルトの魅力を語りながら創作に励んでいます。

地区センターなどで開催された教室をきっかけに、興味を持ったメンバーでサークルを結成。「何かのリメイクできないかな、と考え始めると、古い布でも捨てられなくなるんです」と話すのは代表の江新子さん(63) 大工町。会員同士で自分の作品を見せ合ったり、友人にプレゼントしたりして楽しんでいきます。松崎ふみ子さん(75) 大工町は「思い出がまった古い服でも、違う物に作り変えて、また一緒に居られるのがうれしい」と話します。会員も随時募集中。いろいろな布を使って、一緒に自分好みのキルトを作ってみませんか。

(ミヤ)結婚してから農業を始めたので、何から何まで初めてで苦労の毎日。とにかく立派なお嫁さんになろうと必死でした。

◆今の楽しみ、お互いに言いたいことは、
(繁)日本やさまざまな国の風景のビデオ鑑賞です。未知の世界の風景は、見ているだけで行った気分になって面白いです。

(ミヤ)高校生の孫の野球応援です。試合があれば夫と一緒にどこへでも駆け付けます。

(繁)健康が一生の宝です。二人でいつまでも元気に暮らしましょう。

(ミヤ)どんな時も夫の笑顔に支えられてきました。これからもよろしくお願ひします。